

令和2年度 学校だより



# 双葉のいのち

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/baba/>

令和2年7月30日  
横浜市立馬場小学校  
校長 町田 大樹

第5号

## 馬場小学校をみんなでつくる

校長 町田 大樹

朝、校門付近で横断旗をもちながら、登校する児童を迎えています。登校する児童に「おはよう」と声をかけると、「おはようございます！」と私の声の倍の大きき返事が返ってくる場合があります。思わず「いい挨拶だね」と返し、お互いに笑顔を交わします。じっと下を向いて通り過ぎる子もいます。昨日、何かあったのかな、夜は寝られたのかな、朝ごはんは食べたかなと思いを巡らせます。毎朝、子どもたちの表情は様々です。登校中に虫を捕まえた嬉しそうに報告してくる子、「校長先生、お仕事がんばってください！」と声をかけてくれる子もいます。友達との話に夢中になって道路に広がっている子に「危ないよ」と声をかけることもあります。子どもたちの表情に元気をもらえる時間です。

先日、学校探検で校長室に来た1年生に「校長先生の仕事は何ですか？」と質問されました。私は「馬場小学校をもっといい学校にするために、どんなことができるのかを考えたり、いろんな人に相談したりしているんだよ。」と答えました。次の週のTV朝会では、この話を紹介し「馬場小学校をもっとよくすることは、当然、私一人でできることではありません。大人だけでつくるものでもありません。馬場小学校のすべての子どもたちと一緒につくっていきたいと思っています。」と伝えました。

馬場小学校では教育活動が本格化してきています。感染症防止対策を引き続き行った上で、給食や当番活動も始まりました。代表委員会がスタートし、学校をよりよくするためのスローガンの検討も始まりました。6年生の昇降口掃除担当の子どもたちは、下駄箱に入っている靴が乱れているときにきれいに並べてくれています。先日は5年生の子が校長室に来て、熊本の災害が心配なのでみんなで思いを届けたいと話をしてくれました。

それぞれが馬場小学校をもっとよくしたいと考え、できることはないか、やりたいことは何かと考え、行動している姿に感心し、喜びを感じています。

該当学年の保護者の皆様にはすでにお伝えしておりますが、今年度は4・5年生の宿泊体験学習を中止するという判断をさせていただきました。また、運動会についても、例年通りの実施が難しく、混雑を避けるために、平日と土曜日の二日間に実施種目を分けた分散開催を検討しています。制約、制限のある中、苦渋の判断をせざる得ない状況もあります。

しかし、子どもたちにとって、今の学年で見せる姿は一生に一度です。子どもの思いや願いを実現できる学校でありたい。わくわくできる学校をみんなでつくりたいと考えています。引き続き、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

学校のようす（馬場小学校 web ページ）

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/baba/index.cfm/1,0,62.html>